

産婦人科がおすすめする初期臨床研修プラン

産婦人科は大きく産科と婦人科に分かれています。専攻を決めるのはもちろん産婦人科としての研修を始めてからで大丈夫です。後期研修開始時点を見据えて、なるべく長い期間産婦人科での研修を希望する場合は最大 52 週の研修を選択することも可能です(施設によって多少の調整はあるかもしれませんが)。一方で、将来携わりたい分野がある程度定まっている場合には、その分野と関連した診療科での研修を行うことも可能です(それが初期臨床研修の利点でもあります)。

産科であれば新生児集中治療室(NICU)や産科麻酔を学ぶのも良いでしょう。

婦人科志望であれば腹部外科や泌尿器科でまた異なる角度からの腹部手術の経験を積むことや、放射線診断科で画像診断を学んだり、放射線治療科で婦人科悪性腫瘍に対する放射線治療の実験を経験するのも有意義だと思います。

不妊症をはじめとした生殖医療を志す方もいると思いますが、生殖医療に研修医の段階で携わるのはなかなか難しいでしょう。希望者には外来見学を中心に研修してもらうことになると思います。

上記のように、産婦人科の診療内容は多岐にわたります。女性のライフステージに合わせた様々な課題に一貫して関わることのできる、とてもやりがいのある診療科です。是非我々と一緒に多くの女性を支えていきましょう。

1. 研修病院の選択

A・Bコース

○をつけた関連施設は、他院で研修中に大学病院での産婦人科研修を行った実績のある施設です。

Cコース

2年間大学病院での研修であれば、各科と連携の上で様々な対応が可能です。

(例えば、他科研修中にも、研修科での業務に支障をきたさない範囲で産婦人科の当直を経験する、など)

産婦人科の教育関連施設

協力型研修病院 (たすきがけ病院)	JR 札幌病院 ○JCHO 札幌北辰病院 ○市立函館病院 ○留萌市立病院 ○市立釧路総合病院	斗南病院 岩見沢市立総合病院 製鉄記念室蘭病院 北海道立江差病院 北見赤十字病院	NTT 東日本札幌病院 ○小樽協会病院 函館五稜郭病院 市立旭川病院 ○帯広協会病院
研修協力施設	札幌産科婦人科 北海道立子ども総合医療・療育センター (コドモックル)	札幌東豊病院	

※ 「○」の病院に所属する研修医に対して、当科で産婦人科研修受入を行った実績があります

2. 産婦人科医になるために研修が望ましい診療科

- ・一般的な外科系の科として：麻酔科、集中治療科など
- ・産科として：新生児科 (NICU)、麻酔科 (産科麻酔チーム) など
- ・婦人科として：腹部外科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科など

3. コース選択

・周産期専攻希望者例

1 年次												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科						必修 救急・ICU			必修 外科	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科
2 年次												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 産婦人科								選択 麻酔科		選択 新生児科		必修 地域医療

・婦人科専攻希望者例

1 年次												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科						必修 救急・ICU			必修 外科	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科
2 年次												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 産婦人科								選択 放射線診断科		選択 放射線治療科		必修 地域医療

・産婦人科一般例

1 年次												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
必修 内科						必修 救急・ICU			必修 外科	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科
2 年次												
4 週	8 週	12 週	16 週	20 週	24 週	28 週	32 週	36 週	40 週	44 週	48 週	52 週
選択 産婦人科											必修 地域医療	